

(様式9)

梨大医事発第17号
平成21年10月 2日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人山梨大学長
前田 秀一

特定機能病院山梨大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	87.0人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護婦及び准看護婦

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	197人	98.0人	273.4人	看護補助者	30人	診療エックス線技師	人
歯科医師	4人	4.0人	7.6人	理学療法士	5人	臨床検査技師	32人
薬剤師	26人	4.0人	30.0人	作業療法士	2人	臨床検査衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	5人
助産師	21人	人	21.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	432人	14人	440.5人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	人	人	人	栄養士	2人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	50人
管理栄養士	4人	人	4.0人	診療放射線技師	24人	その他の職員	47人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数に含めないで記入すること。
 3. 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	483.0人	3.7人	486.7人
1日当たり平均外来患者数	1161.5人	47.5人	1209人
1日当たり平均調剤数	外来 132.0剤	入院 584.5剤	計 716.5剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療の角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	<input type="radio"/> 有・無	6人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。))角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水泡型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水泡症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉砕骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ-リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1)疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾患の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレンジによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術（頸部良性腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術（転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法（骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術（プルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療（ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（胸部悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法（腎悪性腫瘍（従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術（手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法（転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫（診断の確実なものに限る。）に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法（一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術（特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症（NIHF）例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの（妊娠二十週から三十四週未満に限る。）に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法（二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術（部分切除及び外側区域切除を除く。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援（前立腺がんに係るものに限る。）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	24人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	15人
・多発性硬化症	44人	・ウェゲナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	58人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	41人
・全身性エリトマトーデス	106人	・多系統萎縮症	16人
・スモン	3人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	25人	・膿疱性乾癬	2人
・サルコイドーシス	20人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・原発性胆汁性肝硬変	24人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	65人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	42人	・特発性大腿骨頭壊死症	21人
・結節性動脈周囲炎	18人	・混合性結合組織病	12人
・潰瘍性大腸炎	56人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	9人	・特発性間質性肺炎	4人
・ビュルガー病	14人	・網膜色素変性症	39人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	37人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	27人	・神経繊維腫症	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	0人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	80人	・突発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	3人	・ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	33人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門との開催状況 ※毎週開催 乳腺・甲状腺症例検討会 婦人科症例検討会 呼吸器症例検討会 皮膚科症例検討会 ※毎月開催 第一外科症例検討会 泌尿器科症例検討会 腎生検症例検討会(不定期) 骨軟部腫瘍症例検討会(不定期)	
剖検の状況	剖検症例数 36例	剖検率 16.3%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
Claudin-WNKによる消化器上皮タイトジャンクションの制御機構	山内 小津枝	内科学1	2,210	補委 文部科学省
甲状腺転写因子TTF-1のエピジェネティクス制御と癌の分化誘導に関する研究	近藤 哲夫	人体病理学	1,300	補委 文部科学省
大腸癌におけるDkk familyのWntシグナル制御機構の解明	山口 達也	内科学1	2,080	補委 文部科学省
臍帯血由来NK細胞の抗白血病効果の検討	本名 浩子	小児科学	1,820	補委 文部科学省
11q23転座型急性白血病に対するFLT3阻害剤を用いた分子標的療法	高橋 和也	小児科学	780	補委 文部科学省
肺癌における分子標的治療の研究 (siRNAを用いたmTORの抑制)	松原 寛知	外科学2	1,430	補委 文部科学省
RNA干渉を利用したアレルギー性鼻炎の新しい治療薬開発の基礎的研究	遠藤 周一郎	耳鼻咽喉科	1,170	補委 文部科学省
TWEAKレセプターFn14の遺伝子プロモーター解析	岡本 篤司	耳鼻咽喉科	1,040	補委 文部科学省
甲状腺ホルモン受容体を介した膵臓β細胞増殖メカニズムの解析	古屋 文彦	第3内科	2,600	補委 文部科学省
HDAC阻害剤によるALL細胞のアポトーシス・細胞周期停止・分化誘導のメカニズム	佐藤 広樹	小児科学	2,210	補委 文部科学省
TGF-β阻害分子を標的とした悪性黒色腫治療に関する研究	神崎 美玲	皮膚科	3,510	補委 文部科学省
食道扁平上皮癌に対するHerceptin抗体療法の開発と耐性機序の解明	河口 賀彦	第1外科	2,210	補委 文部科学省
卵およびES細胞質を用いたがん細胞の初期化・再分化療法の確立に向けての基礎的検討	深澤 宏子	産科婦人科	1,430	補委 文部科学省
新たなペプチド免疫療法開発へ向けての研究	松岡 伴和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,990	補委 文部科学省
がん幹細胞に発現する転写因子を標的とした新規分子標的療法の開発	小松 則夫	血液内科	5,850	補委 日本学術振興会
ホスホリパーゼA2を基盤とする心血管病の成因解明と新しい予防・治療薬の探索	久木山 清貴	内科学2	6,760	補委 日本学術振興会
虚血耐性の内在性神経保護作用における細胞内情報伝達系の解明	木内 博之	脳神経外科学	4,030	補委 日本学術振興会
大規模ウイルスゲノムワイド解析による慢性C型肝炎病態の包括的解明	榎本 信幸	内科学1	7,020	補委 日本学術振興会
新規血小板活性化受容体CLEC-2と生体内リガンドポドプラニンの血栓症での役割	尾崎 由基男	臨床検査医学	5,070	補委 日本学術振興会
悪性黒色腫に対する新たな治療法開発の基礎研究	島田 眞路	皮膚科学	9,490	補委 日本学術振興会
下部尿路知覚神経伝達におけるイオンチャネルの役割と新規治療応用に関する研究	武田 正之	泌尿器科学	10,530	補委 日本学術振興会
甲状腺癌のプログレッションにおける遺伝子背景の分子病理学的解析	加藤 良平	人体病理学	650	補委 日本学術振興会
重症うつ病の電気痙攣治療による脳機能画像変化と認知機能に関する検討	小林 薫	精神科神経科	780	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス蛋白NS3ヘリカーゼによるウイルス増殖制御機構の解明	前川 伸哉	内科学1	2,210	補委 日本学術振興会
劇症1型糖尿病の成因・早期診断に関する研究	遠藤 登代志	内科学3	1,690	補委 日本学術振興会
白血病細胞の糖代謝特性の解明とそれに基づく新規治療戦略の展開	桐戸 敬太	血液内科	1,690	補委 日本学術振興会
線虫ces-1相同転写因子であるSlugの白血病細胞の細胞死制御における意義	犬飼 岳史	小児科学	1,690	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
自然免疫を介した炎症防御機構の臓器間相互関連の解明と、その臨床応用に関する研究	河野 寛	外科学1	2,210	補委 日本学術振興会
遷延性脳脊髄液喪失状態の脳内モノアミン代謝に及ぼす影響	堀越 徹	脳神経外科学	1,170	補委 日本学術振興会
脳虚血再灌流時のクロマカリム、デクスメトミジン、ローキナーゼ阻害薬の脳保護効果	木内 理子	麻酔科学	1,560	補委 日本学術振興会
脊髄代謝型グルタミン酸受容体に着目した脊損後排尿障害の病態解明と治療法検討	芳山 充晴	泌尿器科学	1,170	補委 日本学術振興会
膀胱求心性神経伝達における機械感受性イオンチャネルTRPA1の役割	荒木 勇雄	泌尿器科学	1,560	補委 日本学術振興会
プロスタグランジン分解代謝系遺伝子群が陰莖勃起に果たす役割に関する検討	野村 照久	泌尿器科学	1,690	補委 日本学術振興会
緑内障性軸索流障害の原因究明とその治療法の研究	柏木 賢治	眼科学	1,950	補委 日本学術振興会
血小板におけるアスピリン抵抗性の新規検査法の開発および糖尿病患者での解析	高野 勝弘	臨床検査医学	1,430	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス蛋白と相互作用する脂質ラフト構成宿主蛋白の解析	井上 泰輔	内科学1	1,690	補委 日本学術振興会
データ・マイニング解析、ウイルス遺伝子解析によるC型肝炎の病態解明	黒崎 雅之	内科学1	1,690	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス治療抵抗性における自然免疫の関与と難治要因の病態解明	朝比奈 靖浩	内科学1	1,690	補委 日本学術振興会
TCF7L2遺伝子の胚発生と糖尿病発症における役割についての研究	會田 薫	第3内科	1,170	補委 日本学術振興会
GAD65-encodingDNAワクチンを用いた1型糖尿病の予防	小林 哲郎	内科学3	2,600	補委 日本学術振興会
白血病発症におけるRUNX1遺伝子発現制御機構の解析	迫江 公己	血液内科	1,820	補委 日本学術振興会
新規血小板活性化受容体CLEC-2の第二リガンドの同定とその生体内機能の検討	井上 克枝	臨床検査医学	3,380	補委 日本学術振興会
小児難治性悪性腫瘍に対する同種ナチュラルキラー細胞による抗腫瘍効果	合井 久美子	小児科学	1,690	補委 日本学術振興会
細胞内導入ペプチドを用いた難治性皮膚疾患に対する治療薬開発の基礎研究	柴垣 直孝	皮膚科学	2,990	補委 日本学術振興会
皮膚悪性腫瘍の発生におけるAIDの関与	原田 和俊	皮膚科	1,820	補委 日本学術振興会
ヒトCD34陽性細胞移植NOGマウスを用いた経膈/経皮ウイルス感染モデルの開発	川村 龍吉	皮膚科	2,990	補委 日本学術振興会
肝臓機能重視した新しい視点に基づく人工肝臓補助システムの開発	藤井 秀樹	外科学1	1,950	補委 日本学術振興会
新規癌拒絶抗原を用いた食道癌に対する癌ワクチン療法の開発	河野 浩二	外科学1	2,470	補委 日本学術振興会
インドールアミン2,3-ジオキシゲナーゼの悪性グリア免疫回避機構への影響	佐藤 英治	脳神経外科学	2,210	補委 日本学術振興会
椎間板変性解明への分子生物学的アプローチと新しい治療法の確立	波呂 浩孝	整形外科	3,120	補委 日本学術振興会
体細胞核移植技術を応用した性ステロイドホルモン受容体遺伝子発現機構の解析	平田 修司	産婦人科学	1,560	補委 日本学術振興会
頭頸部癌における癌幹細胞の免疫学的解析と治療への応用	近松 一郎	耳鼻咽喉科	2,600	補委 日本学術振興会
タキサン系抗癌剤耐性分子の臨床的意義の解明と治療への応用	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,690	補委 日本学術振興会
最軽度アルツハイマー病脳における酸化傷害:認知機能障害発現との関連性	布村 明彦	精神神経医学・臨床倫理学	1,690	補委 日本学術振興会
表皮の恒常性維持における亜鉛の役割の解明	島田 眞路	皮膚科学	2,400	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究	榎本 信幸	内科学講座第1	59,623	補委 厚生労働省
ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	前川 伸哉	内科学講座第1	3,000	補委 厚生労働省
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	前川 伸哉	内科学講座第1	2,500	補委 厚生労働省
データマイニング手法を用いた効果的なC型肝炎治療法に関する研究	坂本 稔	内科学講座第1	1,250	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	新藤 和雅	神経内科学	700	補委 厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に関する標準的治療法の確立に関する研究	野村 照久	泌尿器科学	300	補委 厚生労働省
代替医療の実態と有効性の科学的評価	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,000	補委 厚生労働省
リアルタイムモニター花粉数の情報のあり方の研究と舌下パブ「アジュバント」療法の臨床研究	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,500	補委 厚生労働省
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	大西 洋	放射線医学	700	補委 厚生労働省
定位放射線治療による予後改善に関する研究	大西 洋	放射線医学	1,444	補委 厚生労働省
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	大西 洋	放射線医学	700	補委 厚生労働省
精神科薬物療法アルゴリズムの最適化と均てん化に関する研究	本橋 伸高	精神神経医学	1,000	補委 厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	瀧山 嘉久	神経内科学	1,269	補委 厚生労働省
医療の質の向上のための医療情報利活用における標準化と相互運用性推進に関する諸課題の研究	佐藤 弥	地域医療学	2,000	補委 厚生労働省
循環器系シグナローム解析による疾患・病態解明のための基盤研究	尾崎 由基男	臨床検査医学	2,000	補委 国立循環器病センター
循環器疾患の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究	木内 博之	脳神経外科学	1,300	補委 国立循環器病センター
途上国における医療サービスおよび臨床研究の質の向上のための臨床検査関連システムの構築に関する研究	尾崎 由基男	臨床検査医学	2,000	補委 国立循環器病センター
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	本橋 伸高	精神神経医学	400	補委 国立精神・神経センター
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	本橋 伸高	精神神経医学	1,100	補委 国立精神・神経センター
小児期特異的血液疾患の分子遺伝学的解析	杉田 完爾	小児科学	1,000	補委 国立精神・神経センター
上顎骨骨延長における延長量の3次元計測による評価方法の開発	中野 佳央	歯科口腔外科学	2,000	補委 (独)科学技術振興機構
HCV増殖・既存治療抵抗性・病態を制御する宿主およびウイルス遺伝子の同定	榎本 信幸	内科学1	5,000	補委 (独)医薬基盤研究所
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	藤井 秀樹	外科学1	13	補委 (財)がん集学的治療:研究財団
食道扁平上皮癌(SCC)に対するトラスツマブとセツキシマブを介した抗体依存性細胞媒介性細胞傷害作用(ADCC)へのインターロイキン21の効果	河野 浩二	外科学1	2,106	補委 ノボ ノルディスク ファーマ(株)
「StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究」	飯野 弥	外科学1	157	補委 (財)先端医療振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元	
ラットTNBS誘発IBDモデルを用いたMCTの抗炎症作用と消化管粘膜保護作用の検討	河野 寛	外科学1	1,300	補 委	イーエヌ大塚製薬(株)
Bard Dynaflo e-PTFEグラフトを用いた大腿-膝上部膝窩動脈バイパス術における治療成績と医療経済性の評価	榊原 賢士	救急部	54	補 委	(株)メディコン
					計82件

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Gastroenterology 2008;134:1396-1405	Potential Relevance of Cytoplasmic Viral Sensors and Related Regulators Involving Innate Immunity in Antiviral Response	Yasuhiro Asahina, Namiki Izumi, Itsuko Hirayama, Tomohiro Tanaka, Mitsuaki Sato, Yutaka Yasui, Nobutoshi Komatsu, Naoki Umeda, Takanori Hosokawa, Ken Ueda, Kaoru Tsuchiya, Hiroyuki Nakanishi, Jun Itakura, Masayuki Kurosaki, Nobuyuki Enomoto, Megumi Tasaka, Naoya Sakamoto, Shozo Miyake	第一内科
2	Biochemical and Biophysical Research Communications 371 (2008) 762-766	T cell receptor-mediated signaling induces GRP78 expression in T cells: The implications in maintaining T cell viability	Shinichi Takano, Takashi Ando, Nobuhiko Hiramatsu, Asuka Kanayama, Shinya Maekawa, Yuko Ohnuma, Nobuyuki Enomoto, Hideoki Ogawa, Adrienne W. Paton, James C. Paton, Masanori Kitamura, Atsuhito Nakao	第一内科
3	Hepatology Research 2008; 38: 909-918	Griseofulvin, an oral antifungal agent, suppresses hepatitis C virus replication in vitro	Haofan Jin, Atsuya Yamashita, Shinya Maekawa, Pinting Yang, Limin He, Satoru Takayanagi, Takaji Wakita, Naoya Sakamoto, Nobuyuki Enomoto Masahiko Ito	第一内科
4	Journal of Hepatology 48 (2008) 736-742	The presence of steatosis and elevation of alanine aminotransferase levels are associated with fibrosis progression in chronic hepatitis C with non-response to interferon therapy	Masayuki Kurosaki, Kotaro Matsunaga, Itsuko Hirayama, Tomohiro Tanaka, Mitsuaki Sato, Nobutoshi Komatsu, Naoki Umeda, Takanori Hosokawa, Ken Ueda, Kaoru Tsuchiya, Hiroyuki Nakanishi, Jun Itakura, Yasuhiro Asahina, Shozo Miyake, Nobuyuki Enomoto, Namiki Izumi	第一内科
5	J Am Coll Cardiol. 2009 Jan 27; 53(4):323-30.	Persistent impairment of endothelial vasomotor function has a negative impact on outcome in patients with coronary artery disease.	Kitta Y, Obata JE, Nakamura T, Hirano M, Kodama Y, Fujioka D, Saito Y, Kawabata K, Sano K, Kobayashi T, Yano T, Nakamura K, Kugiyama K.	第二内科
6	Thromb Res. 2009 Apr; 123(6):856-61. Epub 2008 Nov 12.	Measurement of the platelet retention rate in a column of collagen-coated beads is useful for the assessment of efficacy of antiplatelet therapy.	Mende A, Obata JE, Sano K, Hirano M, Kitta Y, Kodama Y, Nakamura T, Kawabata K, Saitoh Y, Fujioka D, Kobayashi T, Satoh K, Ozaki Y, Yano T, Kugiyama K.	第二内科
7	Atherosclerosis. 2009 Apr; 203(2):483-8. Epub 2008 Jul 26.	Rapid improvement of carotid plaque echogenicity within 1 month of pioglitazone treatment in patients with acute coronary syndrome.	Hirano M, Nakamura T, Kitta Y, Yano T, Kobayashi T, Sano K, Fujioka D, Saito Y, Kodama Y, Kawabata K, Nakamura K, Obata JE, Kugiyama K.	第二内科
8	Atherosclerosis. 2009 Jan; 202(1):234-40. Epub 2008 Mar 29.	High serum levels of remnant lipoproteins predict ischemic stroke in patients with metabolic syndrome and mild carotid atherosclerosis.	Nakamura T, Obata JE, Takano H, Kawabata K, Sano K, Kobayashi T, Fujioka D, Saito Y, Yano T, Kugiyama K.	第二内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
9	J Cardiovasc Pharmacol. 2008 Apr;51(4):365-71.	Rapid stabilization of vulnerable carotid plaque within 1 month of pitavastatin treatment in patients with acute coronary syndrome.	Nakamura T, Obata JE, Kitta Y, Takano H, Kobayashi T, Fujioka D, Saito Y, Kodama Y, Kawabata K, Mende A, Yano T, Hirano M, Sano K, Nakamura K, Kugiyama K.	第二内科
10	Int J Cardiol. 2009 Feb 20;132(2):221-6.	Adiponectin is released from the heart in patients with heart failure.	Takano H, Obata JE, Kodama Y, Kitta Y, Nakamura T, Mende A, Kawabata K, Saito Y, Fujioka D, Kobayashi T, Yano T, Sano K, Kugiyama K.	第二内科
11	Diabetes	Amylase alpha-2A autoantibodies: Novel Marker of Autoimmune Pancreatitis and Fulminant Type 1 Diabetes. 58: 732-737, 2009.	Toyoshi Endo, Soichi Takizawa, Shoichiro Tanaka, Masashi Takahashi, Hideki Fujii, Terumi Kamisawa, and Tetsuro Kobayashi:	第3内科
12	Br J Haematol. 2008;142:293-300.	Identification of erythropoietin-induced microRNAs in hematopoietic cells during erythroid differentiation.	Kosaka N, Sugiura K, Yamamoto Y, Yoshioka Y, Miyazaki H, Komatsu N, Ochiya T, Kato T	血液・腫瘍内科
13	J Cell Biochem. 2008 May 15;104(2):680-691.	Hemin reduces cellular sensitivity to imatinib and anthracyclins via Nrf2.	Nagai T, Kikuchi S, Ohmine K, Miyoshi T, Nakamura M, Kondo T, Furuyama K, Komatsu N, Ozawa K	血液・腫瘍内科
14	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY	Rat-bite fever identified by polymerase chain reaction detection of Streptobacillus moniliformis DNA	Daiki Nakagomi Nobuhiro Deguchi Akiko Yagasaki Kazutoshi Harada Naotaka Shibagaki Masanobu Kimura Koichi Imaoka Shinji Shimada	皮膚科
15	JOURNAL OF DERMATOLOGICAL SCIENCE	Improving chemotherapeutic drug penetration in melanoma by imatinib mesylate.	Yoichi Ogawa Tatsuyoshi Kawamura Masao Furuhashi Katsuhiko Tsukamoto Shinji Shimada	皮膚科
16	皮膚科の臨床	セレコキシブによる薬疹の1例 本邦で初めての報告	出口 順啓 原田 和俊 矢ヶ崎 晶子 佐野 信也 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路	皮膚科
17	西日本皮膚科	Muir-Torre症候群の2例	出口 順啓 原田 和俊 矢ヶ崎 晶子 柴垣 直孝 島田 眞路 塚本 克彦	皮膚科
18	皮膚病診療	背部弾性線維腫	青木 類 熊野 充剛 沖 正直 岩本 拓 高山 修身 島田 眞路	皮膚科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
19	臨床皮膚科	神経線維腫症1型に合併した悪性末梢神経鞘腫瘍の姉弟例	石川 めぐみ 安藤 典子 岩本 拓 原田 和俊 古橋 正男 川村 龍吉 柴垣 直孝 佐藤 栄一 村田 晋一 島田 眞路	皮膚科
20	皮膚科の臨床	炎症性粉瘤との鑑別を要した皮膚腺病の1例	青木 類 中村 悠美 原田 和俊 川村 龍吉 柴垣 直孝 松江 弘之 島田 眞路	皮膚科
21	Skin Cancer	シスプラチンおよび塩酸ドキシソルピシンによる化学療法が奏効した眼瞼部basosquamous cell carcinomaの1例	中村 悠美 川村 龍吉 小川 陽一 猪爪 隆史 柴垣 直孝 松江 弘之 金子 明博 島田 眞路	皮膚科
22	臨床皮膚科	左腋窩に局限した乳房外Paget病の1例	岡本 崇 相山 秀昭 原田 和俊 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路	皮膚科
23	皮膚科の臨床	植皮部に生じたTraumatic Neuromaの2例	神崎 美玲 小川 陽一 猪爪 隆史 長阪 晶子 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路	皮膚科
24	臨床皮膚科	抜菌とトラニラスト内服が有効であったMelkersson-Rosenthal症候群の1例	神崎 美玲 山口 美由紀 川村 龍吉 柴垣 直孝 島田 眞路 宗像 源博	皮膚科
25	皮膚病診療	クルミによるoral allergy syndrome(OAS)	安藤 典子 島田 眞路	皮膚科
26	Hepatology; 47: 1544-1556	Clinicopathological study on cholangiocellular carcinoma suggesting hepatic progenitor cell origin.	Komuta M, Spee B, Vander Borgh S, De Vos R, Verslype C, Aerts R, Yano H, Suzuki T, Matsuda M, Fujii H, Desmet VJ, Kojiro M, Roskams T	消化器外科、乳腺・内分泌外科
27	Oncology; 74(3-4): 143-9	Protein-bound polysaccharide K partially prevents apoptosis of circulating T cells induced by anti-cancer drug S-1 in patients with gastric cancer.	Kono K, Kawaguchi Y, Mizukami Y, Mimura K, Sugai H, Akaike H, Fujii H	消化器外科、乳腺・内分泌外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
28	J. Surg. Res; (In press)	Inhibition of the Kupffer cell increased serum HMGB1 levels and the mortality in a rat septic peritonitis model.	Kono H, Fujii H, Tsuchiya M, Hirai Y, Ishii K, Hosomura N	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
29	J Surg Res; 150(2): 169-182	Inhibition of the Kupffer cell and neutralization of IL-10 increase the expression of chemokines in the lung in a rat peritonitis model.	Kono H, Fujii H, Tsuchiya M, Hirai Y, Ishii K, Hosomura N, Tanaka N	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
30	J Gastroenterol.; (in press)	Dietary olive oil prevents carbon tetrachloride-induced hepatic fibrosis in mice.	Tanaka N, Kono H, Ishii K, Hosomura N, and Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
31	Int J Cancer.; 122(10): 2286-2293	CCL17 and CCL22 chemokines within tumor microenvironment are related to accumulation of Foxp3+ regulatory T cells in gastric cancer.	Mizukami Y, Kono K, Kawaguchi Y, Akaike H, Kamimura K, Sugai H, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
32	Br J Cancer; 99(9): 1462-1467	Downregulation of HLA Class I molecules in the tumour is associated with a poor prognosis in patients with oesophageal squamous cell carcinoma.	Mizukami Y, Kono K, Maruyama T, Watanabe M, Kawaguchi Y, Kamimura K, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
33	Cancer Sci; 99(7): 1448-54	Detection of novel cancer-testis antigen-specific T-cell responses in TIL, regional lymph nodes, and PBL in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Mizukami Y, Kono K, Daigo Y, Takano A, Tsunoda T, Kawaguchi Y, Nakamura Y, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
34	J Gastroenterol; 44(3): 204-11	Medium-chain triglycerides enhance mucous secretion and cell proliferation in the rat.	Ishii K, Kono H, Hosomura N, Tsuchiya M, Ohgiku M, Tanaka N, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
35	Int.J.Cancer; 123: 2503-2511	Protective effect of Juzen-taiho-to on hepatocarcinogenesis is mediated through the inhibition of Kupffer cell-induced oxidative stress.	Tsuchiya M, Kono H, Matsuda M, Fujii H, and Ivab Rusyn	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
36	Gan To Kagaku Ryoho; 35(2): 319-22	Two advanced/recurrent breast cancer cases effectively treated by trastuzumab/capecitabine combination therapy.	S. Inoue S, Inoue M, Takahashi H, Inoue A, Kunitomo K, Fujii H	消化器外科、乳 腺・内分泌外科
37	Oncol Rep 2008;19:1381-8.	ERAP140/Nbla10993 is a novel favorable prognostic indicator for neuroblastoma induced in response to retinoic acid.	Hiroshi Arai, Toshinori Ozaki, Hidetaka Niizuma, Yohko Nakamura, Miki Ohira, Kunio Takano, Masahiko Matsumoto, Akira Nakagawara.	第二外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
38	日血外会誌17(5);545-50,2008	他科の手術患者に必要とされた血管外科手術手技-協同手術の経験から-	進藤俊哉、本田義博、本橋慎也、葛仁猛、加賀重亜喜、井上秀範、緒方孝治、松本雅彦	第二外科
39	Ann Thorac Surg 2008;86:1701-3	Alternative technique for implanting an implantable cardioverter defibrillator in infants	Shoji Suzuki, Hiroshi Watanabe, Shinpei Yoshii, Shigeaki Kaga, Yoshihiro Honda, Natsuya Ishikawa, Masahiko Matsumoto	第二外科
40	Chirurgia 2008;21:277-9	Tibial pseudoaneurysm without a distinct history of trauma	S. Shindo, M. Katsu, S. Kaga, H. Inoue, K. Ogata, M. Matsumoto	第二外科
41	Eur J Cardio-Thorac Surg 2009;35:364	Migration of an inferior cava filter to the right ventricular outflow tract	Yuki Okamoto, Masahiko Matsumoto, Hidenori Inoue	第二外科
42	日本臨床バイオメカニクス学会誌, 29:219-228	プレート固定における骨幹骨折の骨折治癒解析-スクリューの締付力と軟組織の影響-	原田 鎮郎 水口 義久 中村 祐敬	整形外科
43	ARTHRITIS&RHEUMATISM, 58(11):3510-3519	A Potential Role of Thymic Stromal Lymphopoietin in the Recruitment of Macrophages to Mouse Intervertebral Disc Cells via Monocyte Chemotactic Protein 1 Induction	Tetsuroh OHBA Hirotaaka HARO Takashi ANDOH Kensuke KOYAMA Kyousuke HATSUSHIKA Fumiko SUENAGA Yuko Ohnuma Yuki NAKAMURA Ryohei KATOH Hideoki OGAWA Yoshiki HAMADA Atsuhito NAKAO	整形外科
44	SPINE, 33(23):2489-2494	Mechanism of Signal Transduction in Tumor Necrosis Factor-Like Weak Inducer of Apoptosis-Induced Matrix Degradation by MMP-3 Upregulation in Disc Tissues	Masanori WAKOU Tetsuroh OHBA Takashi ANDOH Yoshiyasu ARAI Kensuke KOYAMA Yoshiki HAMADA Atsuhito NAKAO Hirotaaka HARO	整形外科
45	Journal of Orthopaedic Surgery, 16(2):162-164	Twin hook fixation for proximal femoral fractures	Tatsuo HAGINO Satoshi OCHIAI Masanori WAKOU Eiichi SATO Shingo MAEKAWA Yoshiki HAMADA	整形外科
46	脳神経外科速報	微小血管減圧術における神経内視鏡支援	木内博之	脳神経外科
47	J Neurosurg	Effect of intracranial pressure on the diameter of the optic nerve sheath	Arata WATANABE Hiroyuki KINOUCHI Toru HORIKOSHI Mikito UCHIDA Keiichi ISHIGAME	脳神経外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
48	AJNR Am J Neuroradiol	Diagnostic value of spinal MR imaging in spontaneous intracranial hypotension syndrome	Arata WATANABE Toru HORIKOSHI Mikito UCHIDA Hidehito KOIZUMI Tutomu YAGISHITA Hiroyuki KINOCHI	脳神経外科
49	DIAGNOSTIC CYTOPATHOLOGY 16(8):535-544	Intranuclear Cytoplasmic Inclusion is a Significant Diagnostic Feature for the Differentiation of Lobular Endocervical Glandular Hyperplasia from Minimal Deviation Adenocarcinoma of the Cervix	NAKIHICO HASHI Tutomu YUMINAMOCHI Tetsuo KONDO Ryohei KATOH Kazuhiko HOSHI	医療福祉支援 センター・産婦 人科学講座
50	AMERICAN JOURNAL OF CLINICAL PATHOLOGY 130(4):585-594	Clinical impact of preoperative screening for gastric mucin secretion in cervical discharge by HIK1083-labeled latex agglutination test	Makiko OMORI Akihiko HASHI Yoshio ISHII Tutomu YUMINAMOCHI Masatoshi NARA Tetsuo KONDO Shuji HIRATA Ryohei KATOH Kazuhiko HOSHI	産婦人科学講 座
51	Reprod Domest Anim.11(18)	Long-Time Exposure of Mouse Embryos to the Sperm Produces High Levels of Reactive Oxygen Species in Culture Medium and Relates to Poor Embryo Development.	Enkhmaa Davaasambu Tsuyoshi KASAI Kazuhiko HOSHI	産婦人科学講 座
52	山梨母性衛生学会誌8:1-4	子宮形成術後に生児を得た不育症の1例	奥田 靖彦 小室 真祐子 須波 玲 小笠原 英理子 星 和彦	産婦人科学講 座
53	AMERICAN JOURNAL OF PHYSIOLOGY- REGULATORY INTEGRATIVE AND COMPARATIVE PHYSI 2008 295:R954-R960	Sex-related differences in activity of lower urinary tract in response to intravesical acid irritation in decerebrate unanesthetized mice	Mitsuharu Yoshiyama, Hideki Kobayashi, Isao Araki, DU SHUQI, Hidenori Zakoji, Masayuki Takeda	泌尿器科
54	UROLOGY 2008 72(2):450-45	Differential expression profile of cold (TRPA1) and cool (TRPM8) receptors in human urogenital organs	DU SHUQI, Isao Araki, Hideki Kobayashi, Hidenori Zakoji, Norifumi Sawada, Masayuki Takeda	泌尿器科
55	UROLOGIA INTERNATIONALIS 2008 81:60-65	Differential impact of lower urinary tract symptoms on generic and disease-specific quality of life in men and women	Isao Araki, Takayuki Tsuchida, Teruhisa Nomura, Mizuya Fukasawa, Yoshio Takahana, Nobuyuki Koyama, Masayuki Takeda	泌尿器科
56	JOURNAL OF UROLOGY 2008 180(3):921-927	Alternative nonsteroidal antiandrogen therapy for advanced prostate cancer that relapsed after initial maximum androgen blockade	Hiroyoshi Suzuki, Koji Okihara, Hideaki Miyake, Masato Fujisawa, Susumu Miyoshi, Motohiro Fujii, Yoshio Takihana, Tsuguru Usui, Tadashi Matsuda, Seiichiro Ozono, Hiromi Kumon, Tomohiko Ichikawa, Tsuneharu Miki	泌尿器科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
57	Laboratory Investigation 2008 88:553-563.	Involvement of hypoxia-triggered endoplasmic reticulum stress in outlet obstruction-induced apoptosis in the urinary bladder	Norifumi Sawada, Jian Yao, Nobuhiko Hiramatsu, Hayakawa Kunihiko, Isao Araki, Masayuki Takeda, Masanori Kitamura	泌尿器科
58	AUA/Boehringer IngelheimDVD Library 2008 Session 1(Disk1)	Male Voiding Dysfunction, BPH and Didactic Urological Videos 1. Modified Retropubic Open Prostatectomy Using a Vessel Sealing System	Teruhisa Nomura, Makoto Kawaguchi, Takashi Yamagishi, Hiroshi Nakagomi, Masami Aikawa, Isao Araki, Masayuki Takeda	泌尿器科
59	INCONTINENCE, 2009 116-166 Health Publication Ltd, Paris.	Committee 2 Cell Biology	C. H Fry, A.J Kanai, A. Roosen, Masayuki Takeda, D.N Wood.	泌尿器科
60	International Journal of Urology 2008 15:681-687	Role of mechanosensitive ion channels in bladder sensory transduction and overactive bladder	Isao Araki, DU SHUQI, Hideki Kobayashi, Norifumi SAWADA, Tsutomu Mochizuki, Hidenori Zakoji, Masayuki Takeda	泌尿器科
61	International Journal of Urology 2009 16(2):126-142	Clinical guidelines for overactive bladder Osamu Yamaguchi Osamu Nishizawa, Masayuki Takeda, Osamu Yokoyama, Yukio	Honma, Hidehiro Kakizaki, Kenji Obara, Momokazu Gotoh, Yasuhiro Igawa, Narihito Seki.	泌尿器科
62	European Urology, 56:168-176, 2009.	Editorial Comment on. The loss and progressive recovery of voiding after spinal cord interruption in rats associated with simultaneous changes in autonomous contractile bladder activity.	Masayuki Takeda	泌尿器科
63	Molecular Vision 2009(15):1045-1049	Lack of association between p53 gene polymorphisms and primary open angle glaucoma in the Japanese population	Fumihiko Mabuchi, Yoichi Sakurada, Kenji Kashiwagi, Zentaro Yamagata, Hiroyuki Iijima, Shigeo Tsukahara	眼科
64	Molecular Vision2008 (14):1303-1308	Lysyl oxidase-like 1 gene polymorphisms in Japanese patients with primary open angle glaucoma and exfoliation syndrome	Fumihiko Mabuchi, Yoichi Sakurada, Kenji Kashiwagi, Zentaro Yamagata, Hiroyuki Iijima, Shigeo Tsukahara	眼科
65	Acta Ophthalmologica 87:419-423	Temporal Changes in retinal thickness after removal of the epiretinal membrane	Hitoshi Aso, Hiroyuki Iijima, Masahito Imai, Teruhiko gotoh	眼科
66	The Open Ophthalmology Journal 2008(2) : 159-163	Additive Effect of Brinzolamide on Diurnal Changes in Intraocular Pressure in Latanoprost-treated Eyes	Keitetsu Abe, Kenji Kashiwagi	眼科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
67	The Open Ophthalmology Journal 2008(2):1-4	Changes in Peripheral Anterior Chamber Depth of a Case of Relapsing Polychondritis with Recurrent Secondary Angle	Kenji Kashiwagi, Toshie Fruya, Fumiko Kashiwagi	眼科
68	Journal of Glaucoma 17(8):662-666	Long-term Effects of Latanoprost Monotherapy on Intraocular Pressure in Japanese Glaucoma Patients	Kenji Kashiwagi, Toyooki Tsumura, Shigeo Tsukahara	眼科
69	Jpn J Ophthalmol 53:281-282	Humphrey Perimetry as a Predictor of Visual Improvement After Photodynamic Therapy	Mitsuhiro Imasawa, Toyooki Tsumura, Toyohiko Kikuchi, Arata Sekine, Hiroyuki Iijima	眼科
70	Ophthalmic Research 40:61-68	Effect of Uncompensated Corneal Polarization on the Detection of Localized Retinal Nerve Fiber Layer Defects	Satoshi Kogure, Hiroyuki Kohwa, Shigeo Tsukahara	眼科
71	Journal of Glaucoma 17(1):15-18	Systemic Arterial Stiffness in Glaucoma Patients	Tatsuya Chiba, Nami Chiba, Kenji Kashiwagi	眼科
72	American Journal of Ophthalmology 145(6):1058-1062	Association of LOC387715 A69S With Vitreous Hemorrhage in Polypoidal Choroidal Vasculopathy	Yoichi Sakurada, Takeo Kubota, Fumihiko Mabuchi, Mitsuhiro Imasawa, Naohiko Tanabe, Hiroyuki Iijima	眼科
73	あたらしい眼科 25(1):99-101	塩酸ブナゾン点眼薬の併用眼圧下降効果	館野泰, 柏木賢治	眼科
74	臨床眼科 62(6):945-949	ポリープ状脈絡膜血管症による硝子体出血に対する硝子体手術	後藤輝彦, 今井雅仁, 飯島裕幸	眼科
75	眼科手術 21(1):117-119	25ゲージ硝子体手術システムの使用経験	今井雅仁, 後藤輝彦, 飯島裕幸	眼科
76	Eur J Immunol 38(6):1487-1492	Mast cell regulation of epithelial TSLP expression plays an important role in the development of allergic rhinitis	Miyata M, Hatsushika K, Andoh T, Shimokawa N, Ohnuma Y, Katoh R, Suto H, Ogawa H, Masuyama K, Nakao A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
77	Allergology International 27(3):265-275	A Randomized Double-Blind Comparative Study of Sublingual Immunotherapy for Cedar Pollinosis	Okubo K, Gotoh M, Fujieda S, Okano M, Yoshida H, Morikawa H, Masuyama K, Okamoto Y, Kobayashi M	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
78	Oral Oncol (44):870-877	CD4+ T helper responses in squamous cell carcinoma of the head and neck .	Chikamatsu K, Sakakura K, Yamamoto T, Furuya N, Whiteside T, Masuyama K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
79	Allergology International 57(4):405-411	Patterns of Drug Prescription for Japanese Cedar Pollinosis Using a Clinical Vignette Questionnaire	Takahashi G, Matsuzaki Z, Nakayama T, Masuyama K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
80	Journal of Traditional Medicines 25(5/6):133-142	Identification of epigallocatechin-3-O-gallate as an active constituent in tea extract that suppresses transcriptional up-regulationms of the histamine H1 receptor and interleukin-a genes	Matsushita C, Mizuguchi H, Niino H, Sagesaka Y, Masuyama K, Fukui H	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
81	Allergology International 58(1):63-70	Analysis of Helper T Cell Responses to Cry J 1-Derived Peptides in Patients with Nasal Allergy: Candidate for Peptide-Based Immunotherapy of Japanese Cedar Pollinosis	Masuyama K, Chikamatsu K, Ikagawa S, Matsuoka T, Takahashi G, Yamamoto T, Endo S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
82	日本口腔科学会雑誌 57巻3号: 283-287	石灰化した放線菌塊を伴った歯根嚢胞の1例	宗像源博, 中野佳央, 新中康文, 樋口雅俊, 原田 清	歯科口腔外科
83	The Journal of biological chemistry 2008 Jun 13;283(24):16279-82.	Redundant mechanism of platelet adhesion to laminin and collagen under flow: involvement of von Willebrand factor and glycoprotein Ib-IX-V.	Inoue O, Suzuki-Inoue K, Ozaki Y.	臨床検査医学講座 検査部
84	Eur J Anaesthesiol 25: 450-453, 2008	Isovolemic haemodilution decreases the shivering threshold in rabbits.	Imai Y, Yamakage M, Sato H, Okuyama K, Ishiyama T, Matsukawa T	手術部
85	Eur J Aesthesiol 25 : 805-809, 2008	Urinary bladder temperatures and oesophageal temperatures correlate better in patients with high rather than low urinary flow rates during non-cardiac surgery.	Sato H, Yamakage M, Okuyama K, Imai Y, Iwashita H, Ishiyama T, Matsukawa T	手術部
86	神経麻酔・集中治療 2008 第12回日本神経麻酔・集中治療研究会プロシーディング: 71-73, 2008	セボフルラン麻酔からJM-1232(-)持続静注による麻酔に切り替えた際の脳血管径の変化.	石山忠彦, 渋谷和宏, 市川学, 木内理子, 松川隆	手術部

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
87	J Neurosurg Anesthesiol 21: 40-46, 2009	The direct effects of propofol on pial microvessels in rabbits.	Shibuya K, Ishiyama T, Ichikawa M, Sato H, Okuyama K, Sessler DI, Matsukawa T	手術部
88	J Anesth 23: 151-153, 2009	Intravenous famotidine does not always change core temperature during general anesthesia.	Sato H, Yamakage M, Okuyama K, Imai Y, Iwashita H, Masamune T, Ishiyama T, Matsukawa T	手術部
89	Mol Med 2008;14:257-63	Continuous Hemodiafiltration with PMMA Hemofilter in the Treatment of Patients with Septic Shock	Nakada T, Matsuda K, Oda S, Sadahiro T, Nakamura M, Abe R, Hirasawa H	救急部集中治療医学講座
90	J Clin Lab Anal 2009;23:40-4	A Rapid Enzyme-Linked Immunosorbent Assay with Two Modes of Detection for Measuring Cytokine Concentration	Miwa K, Shibuyama N, Moriguchi T, Goto J, Yanagisawa M, Yamazaki Y, Gimán Jung, Matsuda K	救急部集中治療医学講座
91	Pediatr Cardiol 2009;30:374-6	Plasma Exchange for Removal of Antibetal-Adrenergic Receptor Antibody in a Small Child with Dilated Cardiomyopathy	Sugayama H, Hoshiai M, Sugita K, Matsuda K	救急部集中治療医学講座
92	Transfus Apher Sci 2009;40:49-53	Comparison of Efficacy between Continuous Hemodiafiltration with a PMMA Membrane Hemofilter and a PAN Membrane Hemofilter in the Treatment of a Patient with Septic Acute Renal Failure	Matsuda K, Moriguti T, Harii N, Goto J	救急部集中治療医学講座
93	Transfus Apher Sci 2009;40:61-70	Efficacy of High-Flow Dialysate Continuous Hemodiafiltration in the Treatment of Fulminant Hepatic Failure	Yokoi T, Oda S, Shiga H, Matsuda K, Sadahiro T, Nakamura M, Hirasawa H	救急部集中治療医学講座
94	Clin Oncol 26:5802-5812, 2008	Reducing uncertainties about the effects of chemoradiotherapy for cervical cancer: a systemic review and meta-analysis of individual patient data from 18 randomized trials. J	Vale C, Onishi H, (Chemoradiotherapy for cervical cancer meta-analysis collaboration.)	放射線科
95	Radiologic Examination. Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2009.	Clinical Outcomes of Stereotactic Body Radiotherapy for Small Lung Lesions Clinically Diagnosed as Primary Lung Cancer on	Inoue T, Shimizu S, Onimaru R, Takeda A, Onishi H, Nagata Y, Kimura T, Karasawa K, Arimoto T, Hareyama M, Kikuchi E, Shirato H.	放射線科
96	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会調査報告集:35-41, 2009.	肺癌に対する定位放射線治療—I期非小細胞肺癌に対する多施設共同研究結果を中心に。	大西 洋	放射線科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
97	Eur J Radiol. 2009 Feb 24. [Epub ahead of print]	Thin-section CT of the mediastinum in preoperative N-staging of non-small cell lung cancer: Comparison with FDG PET.	Nambu A, Kato S, Motosugi U, Araki T, Okuwaki H, Nishikawa K, Seito A, Matsumoto K, Ichikawa T.	放射線科
98	Sleep and Biological Rhythms 6 (1): 53-55	Do you perform the multiple sleep latency test according to the guidelines? A case with multiple sleep onset REM periods	Usui A, Kitahara Y, Matsushita Y, Kitajima M, Sakamoto R, Watanabe T, Motohashi N	精神科
99	認知神経科学 10 (1): 119-129	CogHealthの信頼性, 妥当性, 外挿可能性に関する検討	緒方真一, 山田達夫, 本橋伸高, 山縣然太郎, 天野恵子, 篠遠仁, 吉井文均, 石井敏仁, 田中司朗	精神科
100	日本小児呼吸器疾患学会雑誌 19(2):148-153	縦隔気腫の原因診断に喉頭内視鏡が有用であった1例	杉山 剛 金井 宏明 星合 美奈子 中野 佳央 原田 清 杉田 完爾	小児科
101	日本小児科学会雑誌 112(11):1667-1673	男性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症に対する二次性徴導入法の検討	大山 建司 中込 美子 小寺 浩司 佐藤 和正 内田 則彦 佐野 友昭 太田 正法	小児科
102	HISTOLOGY AND HISTOPATHOLOGY 23(3):297-307	Ultrastructural study of human glomerular capillary loops with IgA nephropathy using quick-freezing and deep-etching method.	Emi SAWANOBORI Nobuo TERADA Yasuhisa FUJII Kosuke HIGASHIDA Shinpei NAKAZAWA Shinichi OHNO	小児科
103	脳と発達 40:26-31	Go/NoGo課題における行動抑制に関わる事象関連電位の検討. 第2報:行動抑制機能の発達変化	加賀 佳美 岩垂 喜貴 野口 佐綾香 反頭 智子 相原 正男	小児科
104	脳と発達 40:20-25	Go/NoGo課題における行動抑制に関わる事象関連電位の検討. 第1報:異なる視覚刺激によるGo/NoGo電位マップの特徴	加賀 佳美 岩垂 喜貴 野口 佐綾香 反頭 智子 相原 正男	小児科
105	Pediatr Neurol 38:430-434	Serial diffusion-weighted imaging in subacute sclerosing panencephalitis.	Hideaki Kanemura Masao Aihara	小児科
106	日本小児循環器学会雑誌 24 (6):46-52	先天性冠動脈奇形に対するmagnetic resonance imagingによる冠動脈と心筋虚血の評価の有用性	勝又庸行 鈴木淳子 武村 濃 北爪 勉	小児科
			計	106件

(様式12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

責任管理者氏名	病院長 島田 眞路
管理担当者氏名	総務課長 市川 雅一、医事課長 堀口 幸典、病院経営企画室長 山田 徹

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の 要約及び入院診療計画書, 手術記録 処方せん 看護記録 各科診療日誌, エックス線画像		病歴室 薬剤部 看護部 各診療科	カルテ及び検査所見記録等は, 1患者1IDで, すべて病歴室 で一元管理している。	
病院の管 理及び運 営に関す る諸記録	従業員数を明らかにする 帳簿	総務課	病院の管理及び運営に関する諸記 録は, 左の保管場所で保存管理 している。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及 び評価の実績	総務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	関 覧 実 績	総務課		
	紹介患者に対する医療提 供の実績	医事課		
	入院患者数, 外来患者数 及び調剤の数を明らかに する帳簿	医事課 薬剤部		
	規則 第9 条の 2 3 及び 第1 1 条各 号に 掲げ る	専任の医療に係る安全 管理を行う者の配置状況		安全管理室
		専任の院内感染対策を 行う者の配置状況		総務課
		医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況		安全管理室
		当該病院内に患者からの 安全管理に係る相談に適 切に応じる体制の確保状況		安全管理室
		医療に係る安全管理の ための指針の整備状況		安全管理室
		医療に係る安全管理の ための委員会の開催状況		安全管理室
	医療に係る安全管理の ための職員研修の実施 状況	安全管理室		
	医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全 の確保を目的とした改善 のための方策の状況	安全管理室		

諸 記 録		保管場所	分 類 方 法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課	病院の管理及び運営に関する諸記録は、左の保管場所で保存管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	MEセンター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター	

(様式第13)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

閲覧責任者氏名	病院長 島田 眞路
閲覧担当者氏名	総務課長 市川 雅一、医事課長 堀口 幸典、病院経営企画室長 山田 徹
閲覧の求めに応じる場所	総務課、医事課、病院経営企画室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

(平成20年4月1日～平成21年3月31)

前年度の総閲覧件数		延	4件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	1件
	地方公共団体	延	3件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	64.4%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		10,031人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,999人
	C：救急自動車によって搬入された患者の数		437人
	D：初診の患者の数		18,997人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式 13—2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (25) 名 ・活動の主な内容： (1) 安全対策委員会及び医療事故調査委員会に関する事項 (2) 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分にされているかの確認及び必要な指導 (3) 事故発生時の患者及び家族への対応状況の確認及び必要な指導 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導 (5) 医療安全に係る連絡調整に関する事項 (6) インシデントレポート及び状況報告書の確認 (7) インシデント等に関する調査及び分析 (8) 改善策の検討及び策定 (9) 職員に対する情報提供 (10) 改善策の実施状況の監視及び指導 (11) 医療事故防止マニュアルの見直し (12) 安全対策に関する教育の企画及び実施	
④ 当該病院内に患者からの安全管理相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・指針の主な内容： (1) 医療機関における安全管理に関する基本的考え方 ・医療安全の基本的考え方 (2) 医療機関に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ・安全管理の体制を確保するために、安全管理委員会及び安全管理室の設置 ・医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の設置 ・安全管理のための責任者 (リスクマネージャー) を定め、病院の安全管理の体制確保に努める (3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・安全体制の確保のために、職員研修の企画・実施 (4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・「医療事故等発生報告書」「状況報告書」「インシデントレポート」の入力、報告及び対策 ・安全管理のためのマニュアルを整備し、安全管理委員会に届け出る (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・事故発生時の対応マニュアルの整備および事故発生時の対応 (6) 医療従業者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 (患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む。) ・患者への情報提供 (7) 患者からの相談への対応に関する基本方針	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全管理体制の整備，安全管理のためのマニュアル整備 (2) 医療事故等の防止及び発生時の対応 (3) 使用する医薬品，医療機器の安全管理 (4) 安全管理のための職員研修 (5) 患者に重篤な傷害が生じた場合の対応，原因分析，改善策の立案・実施，職員への周知 (6) 立案した改善策の実施状況の調査及び見直し。 (7) 医療従事者と患者との情報の共有 (8) 患者からの相談への対応 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
<p>・研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全管理体制講演会・・・2回 (2) 医療安全活動報告会・・・2回 (3) 事例検討会・・・4回 (4) AED勉強会・・・1回 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 『インシデントレポートシステム』による運用を行っており，インシデントレポートの第1報が入力されると，あらかじめ決められた安全管理室員（①室員）が内容を把握し，関連する部門のリスクマネージャーに情報を伝える。情報を受けた各リスクマネージャーはインシデントの状況確認及び原因の詳細説明，再発防止策を検討し，第2報として報告する。第2報は，担当する安全管理室員（②室員）が内容を検討し，内容が不十分な場合は担当のリスクマネージャーに差し戻し再検討を依頼する。十分の場合は保存レポートとして終了する。 (2) 提出された内容に基づき，重要事例について安全管理委員会及び安全管理室会議において組織としてのインシデントの分析及び問題点を検討する。必要に応じて部署事例検討会を開催し，より実践に即した具体的分析・検討を行う。 (3) 上記で検討された内容に対し，重要事例について安全管理室会議，安全管理委員会で改善策が検討され，その結果はリスクマネージャー会議で報告及び意見交換され，「リスクマネージャー会議便り」として各部署に報告・周知を行ない実行に移している。特に重要と考えられるインシデントについては，インシデント内容，改善策等をリスクマネージャーニュースとして発行し周知徹底している。また必要に応じてゼネラルリスクマネージャーが直接指導し実行に移している。 <p>・改善事例</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ゼネラルリスクマネージャーの複数配置・・・安全管理体制の強化 (2) 除細動器の追加設置・・・緊急時への即時対応体制の強化 (3) 手術開始時のタイムアウトの実施・・・患者誤認防止，手術部位の間違い防止 (4) 造影剤によるショック既往歴のある患者に対する造影剤検査及び使用造影剤の制限（問診票の作成）・・・造影検査時の患者ショック症状出現防止 (5) CVガイドラインの策定・・・CVカテーテル挿入時のインシデント発生防止 (6) Drブルーの解除連絡・・・Drブルーコールによる職員の参集に区切りをつける 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・指針の主な内容： 組織，感染対策マニュアル，リンクドクター等，院内感染発生時の対応・報告，研修の実施，指針の閲覧に関する事項など</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容： ①定例会議・緊急会議の開催 ②感染症サーベイランスの実施・評価 ③感染症アウトブレイクの対応 ④感染対策の実施状況の調査・指導 ⑤感染対策に関する教育啓蒙活動（職員・学生） ⑥感染コンサルテーション ⑦職員への職業感染対策推進 ⑧感染対策に関する情報収集 ⑨感染性廃棄物処理の監視及び指導 ⑩感染対策マニュアルの更新</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容： ①「針刺し事故とその後の対応」 ②「耐性菌感染対策における最近の話題～MDRP感染症を中心に～」 ※各研修会においてeラーニングシステムによる研修内容の知識の確認を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有 無) ・その他の改善のための方策の主な内容： ①感染対策委員会・感染対策チーム・感染制御室会議における方策の検討・決定・実施 ②院内ラウンドの実施及び指導 ③感染対策チーム員を通して重要事項を各部署へ伝達するとともに各部署からの意見を報告してもらっている。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全のため責任者の配置状況	有 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品安全管理小委員会の役割について 2 薬剤部における安全活動への試みについて 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有) ・ 無)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理手順書に基づく業務チェックリストを作成し、院内に配付した。 業務チェックリストに基づき医薬品安全管理小委員会委員が巡回しチェックした。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無)</p> <p>1 その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品情報室に専任の薬剤師を配置している。 ・ 機構のホームページにて最新の添付文書を閲覧している。 ・ MRに変更添付文書の提出を依頼している。 ・ 調剤棚や注射薬棚に添付文書を保管し、薬品補充時に添付文書変更があれば差し替えている。 ・ 企業より添付文書集を入手し、D I 室および調剤室に保管している <p>2 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤部にて医薬品情報やD I - B O Xなどの情報誌に編集し、院内・医療関係者に配布している。この情報はオーダーリングシステムの電子掲示板に掲載し、バックナンバーを参照できるようにしている。 ・ 特定の診療科に対して重要な情報は、当該診療科により詳細な情報を提供している。 ・ 重大な副作用発現など重大な情報は、これまでに使用した医師を処方歴から調査し、医師個人宛に情報提供している。 ・ 病院全体に提供すべき重大な情報について、既読者リストを貼付し、情報を読んだ者の氏名を記載してもらい返送をお願いし、未読者に連絡する。 ・ 医薬品集を定期的に発行している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のため責任者の配置状況	有 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
<p>・研修の主な内容 使用方法、警報発生時の対処方法、始業前点検事項、安全機構、故障・不具合発生時の対応</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 (有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容： 外観検査、機能条件検査、機械的検査、電気的検査、安全性検査、消耗部品交換</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントレポート 2. リスクマネージャー会議だより 3. MEセンターからのお知らせ 	